

# Tabula・rasa

第17号

タブラ・ラサ



## ごあいさつ

4月に入学式を迎え、新しい生活にも慣れてきたこの季節。図書館サポーターも新メンバーを迎え、活動を始めています。今回の「タブラ・ラサ」では、2012年に行ってきた活動の報告を載せています。どのような活動をしていたのか、興味を持っていただければ幸いです。

2012年度図書館サポーター長  
文学部日本文学科4年 澤田 瑞穂

## 「タブラ・ラサ」の意味

社会契約説を唱えたジョン・ロックの言葉で、ラテン語で「白紙」を意味します。「生まれたとき人は皆白紙である。そこに、経験によって様々な概念が書き込まれる」

その一つのよりどころとして図書館が存在してくれば、読書を通して様々な経験が出来れば、そのような想いが込められています。

# 2012年度 活動報告

## 図書館サポーター初の『ワーキンググループ』設置☆

### ① 『棚・読書家大賞』班

毎月のテーマ毎のオススメの本の紹介(POP)や期間内により多くの読書をした人を表彰する読書家大賞の運営を担当。

### ② 『図書館業務』班

図書館司書の仕事を手伝う。昨年度は机の様様替えや棚の整理などを手伝った。TKP(図書館変わりますプロジェクト)と連携して図書館を改革している。図書館業務担当。

### ③ 『広報』班

図書館サポーターの広報誌「みにたぶら・らさ」の発行、配布担当。  
通称「みにたぶ」は新刊紹介や図書館の休館日などを掲載。

### ④ 『オープンキャンパス』班

オープンキャンパスで行われる図書館案内の企画、運営担当。

### ⑤ 『行事』班

シンポジウムやブックハンティングなどの夏季休暇に行う学外活動行事の準備や参加者の所属する班。

### ⑥ 『古本市』班

大学祭2日目に開催する古本市の準備や告知、当日の運営担当。  
読まなくなった本を図書館サポーターが回収し、格安で古本として販売している。  
昨年度は売上金は一部東北大震災復興支援金とした。



サポーターそれぞれが、希望するワーキンググループに所属して、グループ長の元で活動しました。ワーキンググループはその後、古本市の準備に回ったり、広報班や棚班へ移って活動しました。後期は引継ぎの作業を中心に、新体制へと移行する準備を行ってきました。

## ～ 1年間の流れ ～



2011. 12  
～2012. 3  
・ワーキンググループ設置準備



2012. 4  
・「みにたぶ」4号発行  
・新サポーターを迎え  
本格的に活動開始！！

2012. 7  
・「みにたぶ」5号発行  
・オープンキャンパス



2012. 8  
・オープンキャンパス  
・シンポジウム準備開始



2012. 9  
・学生協働シンポジウム(島根)  
・ブックハンティング(博多)  
・後期ワーキンググループ開始  
・古本市の準備開始



2012. 11  
・古本市開催(文化祭2日目)  
・引継ぎ作業



2012. 12  
・3年生引退  
・追いコン



## 仕事を振り返って——

『広報』班の主な仕事は携帯型図書館広報紙『みにたぶら・らさ』を発行することと、図書館公式ブログである『とぼログ』にサポーターの活動報告や図書館の近況を掲載することです。『みにたぶら・らさ』では、毎月変わる展示棚の紹介、趣向を凝らした企画、図書館の最新情報などを掲載しました。また『とぼログ』は、公式ブログとしてサポーターの生の声を更新していきました。インターネットを使った外部との交流が深められるようになれば、と思うことが多くありました。

この班のメンバーは、仕事を渡すと期限を守り、分からないことはすぐに聞き、アイデアを淀みなく提案するなど、編集長よりも仕事ができるのではないか、と思えるほどで、将来有望です。

思えばこの仕事を担当することになり様々なことがありました。指示をして、仕事を任せるということ。責任を持つ立場にいるということ。編集・配布方法を変えた『みにたぶら・らさ』を発行したこと。そして何よりも嬉しく思ったのが、自分の努力を評価してもらえたことです。自分が思っている以上に他人は自分を見ているということを実感できました。大変な思いもしましたが、いい思い出となりました。

2012年度副図書館サポーター長 『広報』班班長  
文学部日本文学科4年 河内野 春紀



私が担当したのは、古本市の仕事です。

まずは、古本を集める事から仕事が始まります。校内に古本を募集するポスターを貼ったり、先生方に古本を募集する旨のチラシを渡したりしました。広報班という宣伝などを専門とする班と共同で仕事を行いました。連絡のあった方から古本を回収した後、寄贈された本を整理をします。本を指定したジャンルに分け、それぞれに値段をつけていきます。値段を確認しやすいように背表紙に、値段に対応したカラーシールを貼っていきました。販売当日は、古本をダンボールに入れて売りました。

2012年の古本市は短いスパンでの売り上げデータが欲しかったので、大学祭の内の一日程だけ開催する事としました。前年の1~2週間開催での売り上げデータと比較する事で、今後古本市を開催するにあたっての適切な期間を把握する事が出来たと思います。

反省すべき点としては、古本の寄贈を呼びかける際、チラシやポスターに頼るだけでなく、先生などに直接交渉するべきだったというところです。古本市開催当日に先生方から「言ってくれば古本を寄贈したのに」というお言葉をたくさん頂きました。古本を回収したいのであれば自分達から出向く必要があったと反省しています。

2012年度図書館サポーター 『古本市』班班長  
文学部日本文学科4年 井上 雅矩



私は、『オープンキャンパス』班の班長をしました。

当日までに、図書館の本を使って学科ごとにクイズを考えたり、図書館マスコットキャラクターであるライちゃんについてのクイズを考えたり、図書館に来た高校生と保護者の方に渡すグッズを考え、しおりとブックカバーを製作をしました。

当日は、今までに作成したポップを本と一緒に並べて置き、展示物の配置を考え、館内案内の流れや、回るルートを確認しました。オープンキャンパスが終わった後は、参加者全員が報告書を提出した後、反省と次回についての話し合いを行い、もっと楽しんでもらうにはどうすればいいか考えました。

初めてリーダーを任せられ、人間関係の難しさを改めて学ぶことができました。私は、人に指示をするということが苦手なので、最初的时候は全て自分で抱え込んでしまい、大変でした。人を集めることも苦手だったので、手伝ってくれる人を探すのにも戸惑いました。案内中に高校生や保護者の方に上手く説明することがあまりできなかったように思います。ですが、他のメンバーや先生から、図書館に来た高校生と保護者の方が楽しんでくれていた、という話を聞き、嬉しく思いました。目立つことを避けていた私にとって、この経験は非常に勉強になることが多かったです。この経験を仕事などでも活かしていければと思います。

2012年度図書館サポーター 『オープンキャンパス』班班長  
文学部日本文学科 4年 森本 佳奈子



『行事』班を担当していました。島根で行われた学生協働シンポジウムでは、大人数の前で20分間もの発表を経験しました。どのように楽しんで聞いてもらうか、趣向を凝らしました。パワーポイントを使っての発表も久しぶりで、いかに見やすくするか、何を伝えるか、班のメンバーと悩みました。結果、普段元気に活動する様子そのままに発表することができ、高い評価を頂くことが出来ました。他大学の交流によって、視野を大きく開くことも出来ました。

また、図書館サポーターの代表としても活動してきました。先輩方が引退すると同時に、今までしてきた仕事を同じように続けるか、全て一新するかの話合いが続きました。すぐに新入生は入ってきます。夏には学生協働シンポジウムも控えています。オープンキャンパスも古本市も「みにたぶ」の発行も、同じように控えています。1人で仕切り、仕事を回すことは出来ないと判断し、ワーキンググループ設置に至りました。

グループ長の中には、責任を感じて思い悩む人もいました。一気に活動が変わり、困惑したメンバーも居ました。その様子を見ながら、辛い思いをさせたと、後悔することもありました。ですが、メンバー全員がそれぞれ考えながら働くようになり、年の終わりには顔つきも頼もしく変わったと思います。後輩たちがこれからさらにどのように変わっていくのか、とても楽しみです。

2012年度図書館サポーター長 『行事』班班長  
文学部日本文学科4年 澤田 瑞穂



# 新人サポーター大募集!!

- 募集対象：本学学生（1～3年生）
- 募集人数：制限なし
- 活動任期：大学3年11月前半（予定）
- 募集期間：随時募集中☆
- 活動内容：◆ブックハンティング（博多の書店での本の買い付け）
  - ◇他大学の学生サポーター・図書委員との交流
  - ◆古本市開催
  - ◇本の展示、POP 製作、広報誌等の作成
  - ◆その他、サポーターがひらめいた活動 等
- 参加条件：本好きはもちろん、図書館好きであることに加え、やる気にあふれた方を大募集!! クリエイティブな事したい・楽しい事したい・やりがいのある事をしたい・一生懸命にかをしたい人、

**大歓迎です!!**

図書館サポーターとは

梅光学院大学図書館専属の

ボランティア団体である



## 編集後記

2012年度の図書館サポーターの活動は以上です。

年度初めの「Tabula・ラサ」発行をもって、私たち4年生の仕事は終わりです。新体制はすでに動き始めています。昨年1年で大きく変わった図書館サポーターの活動は、今後も姿を変え続けていきます。よりよい図書館を作っていくため、是非、皆様の声を聞かせてください。図書館サポーターも日々努力しながら活動していきます。

2012年度図書館サポーター長・文学部日本文学科4年 澤田 瑞穂